

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月10日 (2014.7.10)

【公開番号】特開2013-218570(P2013-218570A)

【公開日】平成25年10月24日 (2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-89546(P2012-89546)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0482 (2013.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 4 B

G 0 6 F 3/048 6 5 5 B

G 0 6 F 3/048 6 5 8 B

G 0 6 F 3/048 6 2 0

B 6 0 R 16/02 6 3 0 J

B 6 0 R 11/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月28日 (2014.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

入力面 (3 2) に入力される操作によって選択されるそれぞれ複数の選択画像部 (6 3) を表示する表示領域 (6 0) が、表示画面 (5 2) に複数規定される表示システムであって、

複数の前記表示領域のうちアクティブ領域 (6 9) として選定される一つの表示領域を、選択操作に基づいて前記選択画像部の選択が可能な状態で表示する表示画面と、

前記表示画面から離れて位置し、前記選択画像部を選択する選択操作が入力される前記入力面と、

前記入力面に入力される特定の操作を切替操作として予め記憶し、前記入力面に入力された操作が前記切替操作であるか否かを判定する判定手段 (5 3 , S 1 0 2) と、

前記切替操作が入力されたとき前記判定手段によって判定された場合に、前記一つの表示領域から前記複数の表示領域のうちの他の一つの表示領域に、前記アクティブ領域を切り替える切替手段 (5 3 , S 1 0 5 , S 1 0 6) と、

を備えることを特徴とする表示システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、入力面（ 3 2 ）に入力される操作によって選択されるそれぞれ複数の選択画像部（ 6 3 ）を表示する表示領域（ 6 0 ）が、表示画面（ 5 2 ）に複数規定される表示システムであって、複数の表示領域のうちアクティブ領域（ 6 9 ）として選定される一つの表示領域を、選択操作に基づいて選択画像部の選択が可能な状態で表示する表示画面と、表示画面から離れて位置し、選択画像部を選択する選択操作が入力される入力面と、入力面に入力される特定の操作を切替操作として予め記憶し、入力面に入力された操作が切替操作であるか否かを判定する判定手段（ 5 3 , S 1 0 2 ）と、切替操作が入力されたら判定手段によって判定された場合に、一つの表示領域から複数の表示領域のうちの他の一つの表示領域に、アクティブ領域を切り替える切替手段（ 5 3 , S 1 0 5 , S 1 0 6 ）と、を備える表示システムとする。